

## 第1部



# 稲むらの火

ミュージカルバラエティ



1854年安政の南海地震に際して復興に挑んだ  
浜口梧陵と村人たちの 実話に基づく物語

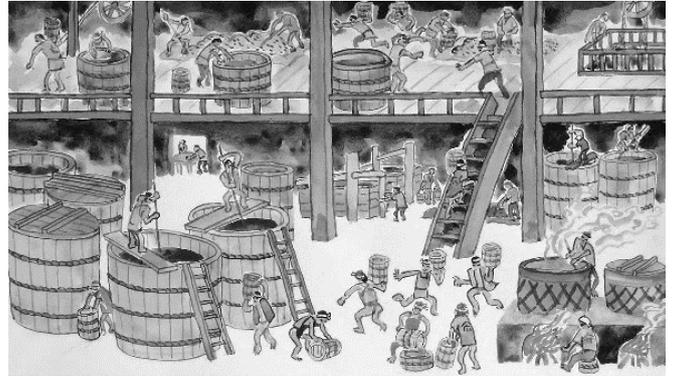
## STORY

紀州広村(現・和歌山県広川町)で生まれた浜口梧陵は、12歳の時に本家の養子として銚子(現・千葉県)に移り、家業である醤油製造販売・広屋(現・ヤマサ醤油)の事業を継ぎました。

### 安政の大地震・津波が 突然、村を襲う

彼が広村に帰郷していた時、突如大地震が発生し大津波が紀伊半島一帯を襲いました。

彼は収穫したばかりの稲の束「稲むら」に火を放ち、この火を目印に高台の安全な場所へ村人を誘導、避難させ、命を守ることができました。しかし村には大きな爪あとが残りました。



### 100年後のふるさとを守る

梧陵は、故郷の復興のため私財を投げ打って、「100年後のふるさとを守るため」村人達と共に堤防の建設に着手しました。4年の歳月、延べ人員56,736人、銀94貫を費やして全長650m、幅20m、高さ5mの大防波堤「広村堤防」を築きあげました。



## 第2部

# ふるきьяらのつながるコンサート

～ 石塚克彦が描いた山里の暮らしと、人と人とのつながり ～

山里の自然を歌う

山里に生きる人々の  
葛藤と、愛と絆を歌う

山里の恵みを歌う



### ミュージカルカンパニー ふるきьяら とは…

劇団ふるさときьяらばんの創立から33年間、作・演出家の故・石塚克彦と共に創ってきた“ふるきьяらミュージカル”のスピリッツを原点とした創造集団です。

石塚とコンビを組んできた脚本・演出家、振付師、俳優、プロデューサー有志が発起人となり、2016年1月に結成されました。

生演奏、ミュージカルの形式で誰もが共感でき、楽しめ、時代のメッセージを発信する舞台を創ってゆきます。

### お客様のアンケートより

- こんなに楽しくて元気をもらえるミュージカルははじめて。(53 オパート事務)
- 実話であることに心打たれた。(48 才女性)
- ふるさとを思う心は人をも動かす！感動した。(病院職員)
- 役者のキャラが親しみやすかった。(51 才会社員)
- タイムリーな災害の話で考えさせられた。(42 才会社員)
- ミュージカルは学校の勉強より勉強になった。(19 才学生)